

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公開番号】特開 2010-159755 (P2010-159755A)

【公開日】平成 22 年 7 月 22 日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2010-029

【出願番号】特願 2010-848 (P2010-848)

【国際特許分類】

F 0 1 D 11/08 (2006.01)

F 0 2 C 7/28 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 11/08

F 0 2 C 7/28 A

F 0 2 C 7/28 E

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 17 日 (2012.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タービン発電システムにおいて、

内側直径を有する内側表面 (26) を有するシュラウドを含むステータ (18) と、

前記シュラウド内に回転可能に位置付けられて、回転軸の回りを回転するように適合され、

前記シュラウドの内側表面 (26) に近接した先端を有するブレード (30) を備えたロータ (28) と、

を備え、

前記内側表面 (26) が熱負荷に曝されたときに、前記シュラウドが円周方向に膨張し、これが前記内側表面 (26) の内側直径を小さくするように前記シュラウドが、構成されている、タービン発電システム。

【請求項 2】

前記シュラウドがハウジング内に配置され、前記ハウジングは前記シュラウドに面した内側表面を備える、

請求項 1 に記載のタービン発電システム。

【請求項 3】

前記シュラウドが複数のリーフ (20) を備え、各リーフが、前記ステータに取り付けられ、前記内側表面 (26) 一部を占める第 1 の先端を備える、

請求項 1 または 2 に記載のタービン発電システム。

【請求項 4】

前記複数のリーフ (20) の各々が、第 2 の先端において前記ステータに取り付けられる、

請求項 3 に記載のタービン発電システム。

【請求項 5】

前記複数のリーフ (20) の各々が、前記第 1 の先端と前記第 2 の先端の間に延びる材料ストリップを含み、前記材料ストリップが、前記ロータ (28) の回転軸の回りに巻き付けられる、

請求項 4 に記載のタービン発電システム。

【請求項 6】

前記複数のリーフ（20）の各々が、熱負荷に曝されたときに線形膨張し、これにより前記内側表面（26）の内側直径を小さくするように構成されている、
請求項 5 に記載のタービン発電システム。

【請求項 7】

前記複数のリーフ（20）の各々が、熱負荷に曝されたときに容積膨張し、これにより前記内側表面（26）の内側直径を小さくするように構成されている、
請求項 5 に記載のタービン発電システム。